

別紙 2

下関市上下水道局 A I による管路劣化診断業務 プロポーザル審査基準

下関市上下水道局 A I による管路劣化診断業務の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

1 評価方法

企画提案書類及びプレゼンテーション、提案見積額により評価を行い、各評価内容の得点の合計（以下「総合点」という。）が最も高い者を受託候補者として選定する。

2 評価内容ごとの配点

評価内容ごとの配点は以下のとおりとする。

評価内容	配点
企画提案書類及びプレゼンテーションによる評価	270点
提案見積額による評価	30点
総合点	300点

3 得点の算出方法

(1) 企画提案書類及びプレゼンテーションによる評価

ア 審査委員の採点

審査委員は、(別表) 下関市上下水道局 A I による管路劣化診断業務 評価基準の評価ポイントごとに A～E の評価を行い、以下の計算式により採点を行う。

$$\text{各審査委員の採点} = \text{評価ポイントの配点} \times \text{評価係数}$$

【評価基準割合】

評価ランク	評価基準	評価係数
A	優れている	1
B	やや優れている	0.8
C	普通	0.6
D	やや劣る	0.4
E	劣る	0.2

イ 得点の算出

以下の計算式により得点を算出する。(小数点以下切り捨て)

$$\text{得点} = \text{各審査委員の採点の合計} \div \text{審査委員数}$$

(2) 提案見積額による評価

ア 提案見積額のうち、初期費用にかかる部分（配点20点）

以下の計算式により得点を算出する。（小数点以下切り捨て）

$$\text{得点} = \text{配点} \times \left(\frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right)$$

名称	内容
最低提案価格	提案見積書提出者のうち、最も低い価格を提案した者の価格
提案価格	当該提案者の提案価格

イ 提案見積額のうち、運用費用にかかる部分（配点10点）

「(1) 企画提案書類及びプレゼンテーションによる評価」に準じ、A～Eの評価を行い、得点を算出する。

(別表)

下関市上下水道局 A I による管路劣化診断業務 評価基準

1. 提案内容

	評価項目	評価ポイント	配点	
組織評価	会社概要	資本金、売上高、従業員数等会社の信頼性	5	
	許可等の取得状況	業務を実施する上で有用な会社が取得している資格（ISO、プライバシーマーク等）及びその資格の概要	5	
	業務実績	類似業務の受注実績等	5	
	使用技術のモデル性	デジタル庁のサービスカタログへの登録、上下水道DX 推進事業、デジタル実装型への採択実績等	5	
実施方針	提案事業への取組方針	目的、内容を的確に理解しているか	10	
	提案事業の全体計画	全体工程、業務フローが適切か	10	
		スケジュール管理は適切か	10	
	現況や課題の理解度	地域の特性や課題を理解しているか	10	
	実施体制	体制図、担当者の数や構成等（業務の一部を再委託する場合は、実施体制に再委託の内容及び再委託を行う理由を記載すること）	10	
提案内容	業務要件	解析手法について（基本的な考え方、特徴、破損確率の算出年数等）	20	
		貸与する管路データに対して想定しているデータの補正及び補完内容については適切か	5	
		解析に使用するデータは適切か（データ項目例、特に重視しているデータ等）	10	
		診断結果の精度検証は適切か	10	
		重要度評価が可能か（考え方、診断結果へ反映方法等）	10	
		想定している管路更新計画への反映方法（考え方、想定している具体的な手法等）	10	
		管路のグルーピングが可能か（考え方、閲覧システムでの編集等）	10	
		職員への負担軽減が考慮されているか	5	
	成果品	想定しているデータ名称、データ形式、データ構造等	5	
		その他有意義な成果品の提出があるか	5	
	閲覧システム	システムの形態、ハードウェア要件、特徴等	5	
		職員が利用するにあたり使いやすいものとなっているか	10	
		機能は十分か（閲覧、検索、フィルタ項目、データの可視化、集計機能等）	10	
		セキュリティ対策は十分か	10	
		必要なライセンス数を満たしているか	5	
	その他追加提案	本市への有意義な提案は有ったか	10	
	セキュリティ対策	業務にあたってのセキュリティ対策は十分か	10	
		個人情報の管理体制・管理方法は十分か	10	
	プレゼンテーション	説明に一貫性があるか	10	
		提案上のポイントとなる箇所に絞って説明しているか	10	
		プレゼンテーションの内容が提案書を補完するものとなっていたか	10	
		プレゼンテーションに対するヒアリング・質疑応答は明確であったか	10	
	小計			270

2. 提案見積額

No.	評価項目	評価ポイント	配点
1	初年度見積額	審査基準の計算式により算出	20
2	運用費用見積額	閲覧システム利用料、保守費等	10
小計			30
合計			300